

犯罪です



落書きは

清流大川

羽地中学校
学校だより 146号
せいりゅうおおかわ
H30.12.17



京都の観光名所・嵐山の「竹林の散策路」で、竹が刃物の様なもので彫られて、落書きされている被害が相次いでいる。報道によると、被害は100本以上。外国人観光客らが書いたものとみられ竹林を所有する京都市では、市職員や地元ボランティアらがチラシを配りながら、「落書きは犯罪」「竹林保護に協力を」と訴えています。

先週、金曜日であった校内授業研究会で、美術のS先生からのお話しがありました。S先生は、前述の竹林被害のことに触れながら、残念なことに、羽地中でも美術教室のテーブルや椅子に落書きがあったことを伝えました。韓国のアイドルの名前がマジックで大

きく落書きされていたそうです。美術テーブルにも同様なものが見つかりました。

本人は何気なく書いたつもりだろうが、迷惑な話です。机椅子は公共物で、税金を使って購入されています。器物損壊罪に該当し、犯罪であることを知っているだろうか。落書きした生徒は、素直に非を認め、謝罪してほしいですね。落書きされた文字は溶剤を使って消してはいますが、まだ、薄く残っています。書いた本人が消すべきです。Cさん、Oファンにとってもファンの地位をおとしめる失礼な落書きです。

一人の人として

「ああ、やっぱり中国人の人はマナーが悪い。」
「アメリカ人だから分らない。」
「そのような言葉を聞くと、日本の人は、海外の人にあまり良いイメージは持っていないと感じます。」
「〇〇国の人には、こういう人だから。」
「これは自分勝手なイメージではないでしょうか。イメージで人を判断するのは、偏見だと思います。」
「〇〇国の人には、こんなだから、あなたもこんな人。」
もし、私がそういう風に言われたら、嫌な気持ちになると思います。

三年 R・Tさん



早朝に走る

各活動は、陸上・駅伝、自分が所属する部活動に戻り、それぞれの部の練習に精を出しているところです。そんな中、朝の練習で走っている集団を見ました。

バスケット部、野球部の顔も見え走り集団は、校内を10周(約4km)し、各部へと戻っていきましました。女子バスケットも走っているとの声も聞かれます。「運動の基本は走り」であることを肝に銘じて頑張っています。最後は持久力だ。



自分のことをよく知らないのに、〇〇の国の人はいかような人だと。そういう風に思われると、悲しくなります。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを見越して、日本に観光で訪れる海外の人は増えていると言われています。その中で、言語・宗教・習慣などの違いから、外国人を巡って様々な人権問題が発生している事があるそうです。私は、どんなことが問題となっているのか調べてみました。

地域での生活では、アパートなどの入居や公衆浴場での入浴が断られるそうです。労働においては、働く場所や期間が一定でない、賃金が安い、など働く環境や条件で差別化されていることを知りました。

教育においては、外国人だから、日本語が話せないから、という理由でいじめられている子もいるということです。

実際に、法務省の人権擁護機関では、海外の人のための「人権相談所」が設置され、日本語が話せない人の人権相談に応じているそうです。こうした取り組みは、とても助けになると思います。

閉鎖的な態度をとることは、とる側もとられる側も嫌な気持ちになります。私達ができることは、その人のことを理解しようとする優しい気持ちで接することです。

中国人だから、アメリカ人だから、日本人だから、と国籍で判断することはなく、その人自身を知ろうとすることが大切で、私は、一人の人としての意識をみんなが持つことが差別をなくす第一歩だと思います。